

越 産 建 第 1 7 5 号
平成 2 0 年 1 0 月 1 6 日

国土交通省道路局長 様

越知町長 吉岡 珍正



今後の道路行政についての意見・提案の回答について

別添のとおり要望いたします。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

高知県越知町

国民はすべて平等の恩恵を道路行政においても受けるべきである。地方の道路を費用と効果で見れば、人口密度の高い都市圏が勝っているのはあたり前であり、それによりランク付けされれば、地方の道路は切り捨てられてしまう。同じ国民でありながら一方では多種多様な交通手段が整備されており、一方では危険きわまりない道を通勤や通学、市場への農産品の輸送など自動車のみで行っており、このままでは益々その格差が広がってしまう。もっとも恐れるのは道路行政が進まないことは、地方の不便さから都市への人口の流れが早くなり、田舎の過疎化に歯止めがきかない現状だ。人口透析を初め多くの人々が病院通いをしているし、高齢化に伴い救急車の搬送件数も益々増加している。移動スーパーも地方ではなくてはならないものであり、年に何回もの通行止めが生ずる国道では話にならない。我が町越知町においては労働人口の半数が高知市方面に行っており、朝夕の通勤ラッシュ（特に雨の日や、月曜日など）時には、わずか30キロたらずの距離を1時間30分もかけている。人生の中で通勤だけで莫大な時間を失っている。苦情を書けば切りがなが、早い時期に安全でスピーディーな道路の整備がされなければ、地方は救われないと思う。都市圏の交通手段は年々整備され続けている。少しは地方の事を本腰で考えていただきたい。

②－１ 地域の現状と抱える課題

高知県越知町

○現状

越知町は高知市と松山市を結ぶ国道 33 号中間地点に位置し、地形的に平野部が少なく、仁淀川沿いに急峻な山間を縫うように道ができている。従って、高知県から愛媛県にかけ、数カ所の危険場所が存在し、連続 250 ミリの雨量になると、通行止めとなる。高知市と松山市を結ぶこの国道は唯一の基幹道路であるが、年間何回も通行止めとなる。高知方面をいえば、いの町の朝夕の混雑が昔から何年経っても解消できない。ほんの少しずつは進んでいるが、都市圏に比べると予算があまりにも少ないのではないかと。素直に言えば須崎から窪川にのびている高速道路並に進んで欲しい。

○課題

33 号が通行止めになれば、この道路を利用している車は、危険度の高い山道を数珠つなぎで迂回する。大雨の中のことであるから、大変なことである。高知方面の整備が進まなければ、通勤・通学はもとより病院への時間がかかりすぎる為、高知市周辺に住む者が益々多くなり、33 号沿線は確実に過疎化が進む。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ③

②－２ 地域の目指すべき将来像

高知県越知町

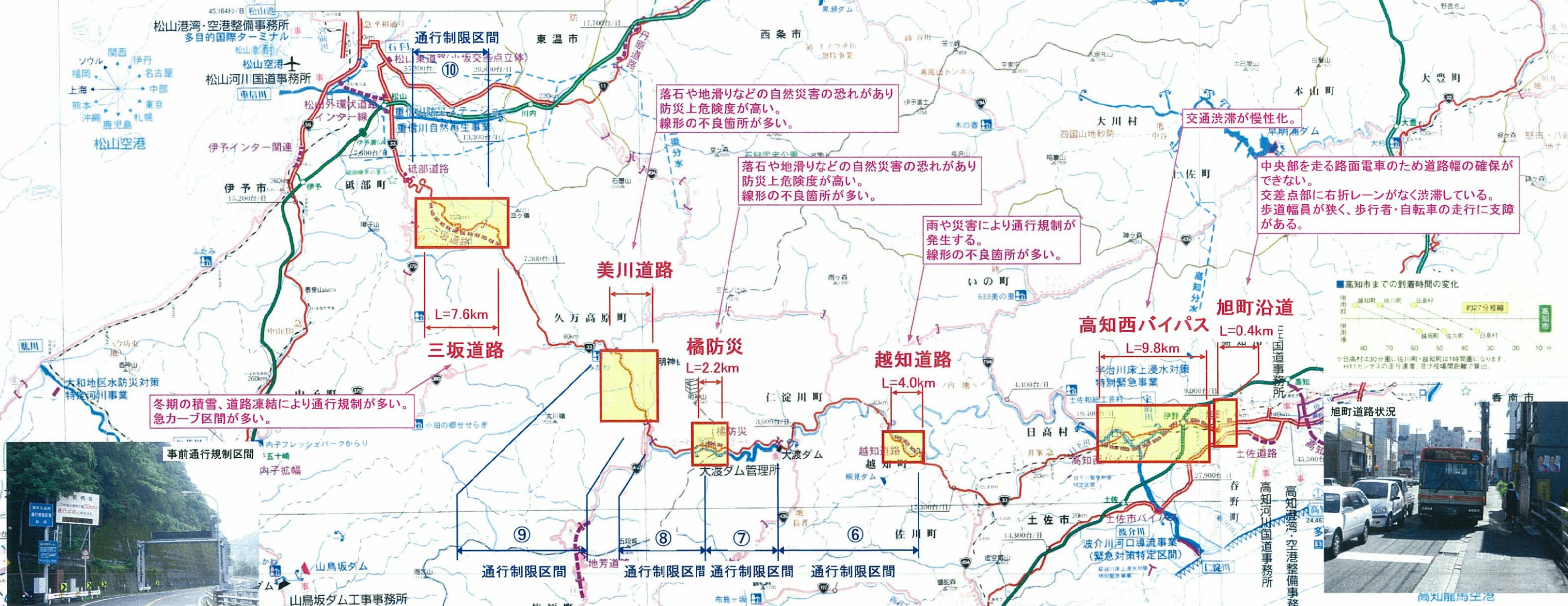
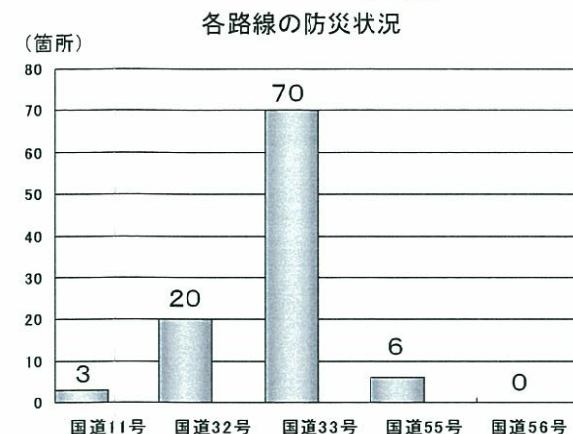
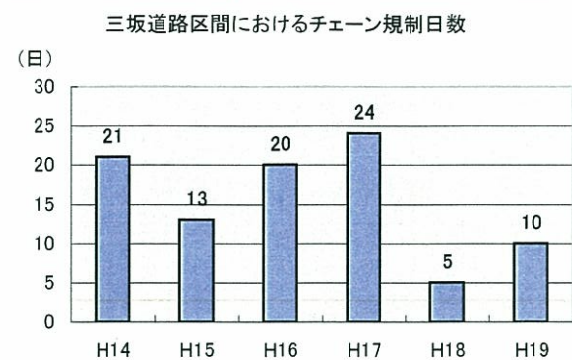
一口に言えば、安全で安心・スピーディーな活動ができる道づくり。住民が地方にいても安心してサービスが受けられる町づくりの為に道路整備。道路の整備により都市に住んでいてもいつでもふる里に無理なく短時間で往来できる環境整備。高齢者でも安心して走れる道路整備。

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

高知県越知町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
命の道づくり	越知道路4キロ中、やっと1キロ開通したが、それでも安心度、便利度は大きい。残りの3キロ区間の早期事業化、県境橋防災、三坂道路の早期完成。高知西バイパス、旭地区の整備。	生活圏の拡大することにより、高知市が通勤・通学のエリアとなる事により人口の流出を防げる。近代的な施設をもつ病院にも行けるし救急車の搬送も短時間に行える。物流も愛媛県や東京・大阪市場に安定出荷が可能となる。	
少子化・高齢者社会への対応	雨量による通行止めのなくなる事による小・中・高校生の通学の利便性。親が田舎に住んでいても安心して、子供達を学校に送れる事が出来るし、スクールバスも運行できる。田舎の少子化にすこしでも歯止めとなる。又、高齢者も安心して病院通いができるし、救急車による搬送もスムーズになり、安心してわがふる里で住むことができる。	(別添のとおり)	

一般国道33号の現状と課題



区間番号	区間	延長	H 10	H 11	H 12	H 13	H 14	H 15	H 16	H 17	H 18	H 19	合計
⑥	高岡郡越智町横倉～ 吾川郡仁淀町森山オオチミ	20.3km	1	3	3	0	1	2	6	1	2	2	21
⑦	吾川郡仁淀町森山オオチミ～ 上浮穴郡久万高原町中津	6.7km	0	3	0	0	0	1	0	0	1	3	8
⑧	上浮穴郡久万高原町中津～ 上浮穴郡久万高原町柳井川	6.1km	2	6	2	0	1	2	7	1	1	2	24
⑨	上浮穴郡久万高原町柳井川～ 上浮穴郡久万高原町中黒岩	7.6km	1	3	1	0	1	1	2	1	1	2	13
⑩	松山市窪野町～ 伊予郡砥部町千足	12.9km	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2



越知道路

越知道路は、命の道

一般国道33号 越知道路(地域高規格道路, 高知松山自動車道)



事前通行規制通行止め

年度	回数	時間
11	6	189
12	2	110
14	1	41
15	3	42
16	8	165
17	1	55
18	2	21



雨が降っても病院に通院できる国道にしてほしい。
平成20年度に3k区間の事業化をお願いします。

○ 通行量の状況 今後増加の見込み ※通行料が無料のため貨物車が増える見込み
17年度調査 6,408台(1日) ⇒ 10,000台 三板道路、高知西バイパス完成後



車を電車、道路を鉄道敷に置き換えて見てください

一般国道33号 高知西バイパス

日赤までの距離 (約16km)

所要時間 約 0:25

旅行速度 26.5km/h

都市鉄道駅間 東京～市川 (0:30), 東京～蒲田 (0:20)

2車線道路に約25,000台/日の交通量→交通容量不足による渋滞



大型店舗の進出
により
渋滞が激しく

歩行者に安全が確保できていない状況



国道33号(高知県)における
H11～H15の事故件数
は旭地区の次に多い

車道にはみ出すノーガード電停

狭い路肩を通る自転車

毎年約1回の頻度で冠水が発生 (中山間地域から高知市へのアクセスに課題)



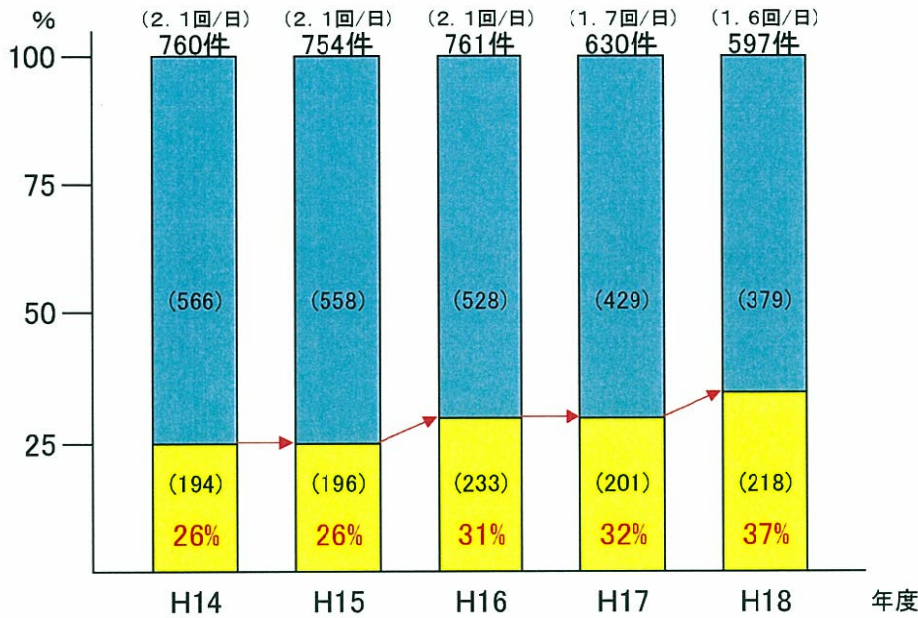
沿線市町村救急業務搬送状況

一般国道33号の山間部沿線町村では、救急業務搬送件数の30%から50%が、都市部の第3次高度医療施設への搬送となっており、年々増加傾向にある。また、出動回数は1日約2～4回と多く、かつ医療施設への到着時間も全国平均に比べ2倍となっている。

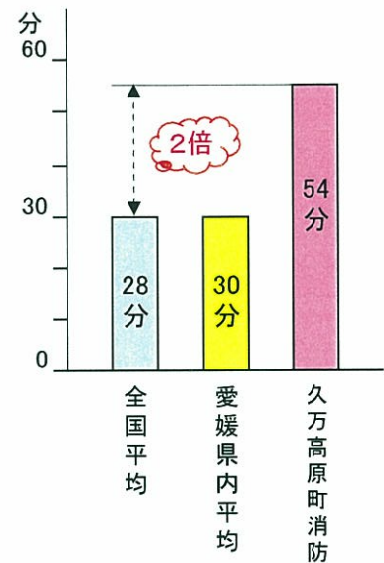
【愛媛県】

救急業務搬送状況

愛媛県久万高原町消防本部
(所有救急車3台)



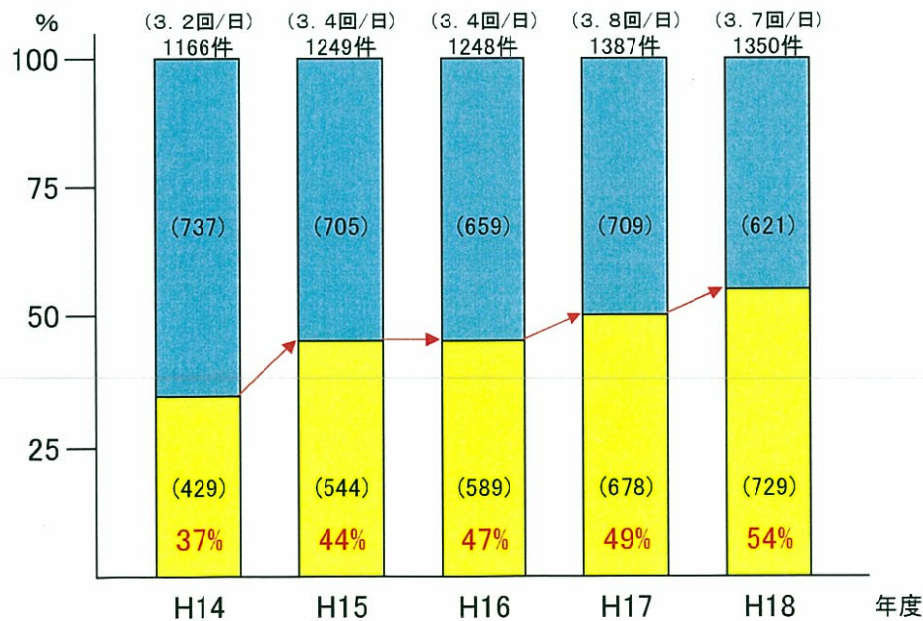
医療機関到着時間



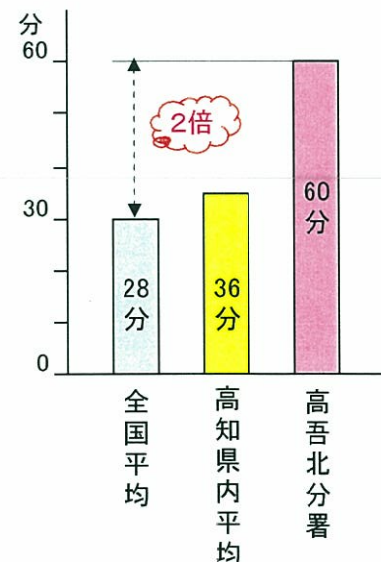
【高知県】

救急業務搬送状況

高知県高吾北消防本部
(所有救急車2台)



医療機関到着時間



■ 管内の医療施設
■ 管外の医療施設(高知市・松山市)